

# 能登の森林・林業の復興に向けた取り組み

## 石川県森林整備協同組合

### 1 はじめに

県森林整備協同組合（金沢市、理事長・水上正敏、以下「協同組合」）は、造林事業を行う事業者によって昭和52年に設立されました。

現在、8組合員で構成され、組合員のために必要な共同事業として、施業技術の向上改善、林業施策に関する情報提供や福利厚生等に関する事業を行っています。

加えて、今年度から新たに取り組み始めました2つの事業の概要について、次の通り紹介します。

### 2 アテ苗木のモデル生産

令和6年能登半島地震からの創造的復興に向けた道筋を示すため、石川県で策定されました「県創造的復興プラン」の施策編の取り組みの一つとして、「能登ヒバ等県産材の生産拡大と利用促進」があります。

その中に、林業の継続と県産材生産量の拡大に向けて、能登ヒバ資源の回復を図るための苗木生産を促進すると記載されています。

この施策を進めていくため、県で新たに予算化された「能登におけるアテ苗木モデル生産事業」について、

| 取組                             | 短期（～R7末）                                      |    | 中期（～R10末）                                   |    |     | 長期（～R14末） |     |     |     |
|--------------------------------|-----------------------------------------------|----|---------------------------------------------|----|-----|-----------|-----|-----|-----|
|                                | R6                                            | R7 | R8                                          | R9 | R10 | R11       | R12 | R13 | R14 |
| 能登ヒバ等<br>県産材の<br>生産拡大と<br>利用促進 | アテ（能登ヒバ）の苗木生産の促進<br>効率的な苗木生産技術の確立と普及          |    | 加賀地区の伐採事業者に<br>能登での伐採を促すことで、<br>奥能登での伐採量の増大 |    |     |           |     |     |     |
|                                | 中能登以南での<br>伐採量の増大                             |    |                                             |    |     |           |     |     |     |
|                                | 能登の<br>製材業者の<br>収益力向上等<br>を検討する<br>協議会を<br>開催 |    | 検討結果を<br>踏まえ、<br>施設整備等<br>による体制強化           |    |     |           |     |     |     |
|                                |                                               |    |                                             |    |     |           |     |     |     |

表：県創造的復興プラン 施策編（抜粋）

写真：仮植え中のアテ挿し木（中能登森林組合）



る技術指導・情報提供などを行うとともに、苗木生産に意欲のあるグループ等の掘り起こしも行っていく予定としています。

なお、現在育苗中のアテ苗木は、本年秋に計画されています森づくり行事などに、使用される予定としています。

### 3 能登復興の森づくり

認定NPO法人環境リレーションズ研究所（東京都、理事長：鈴木敦子、以下「研究所」）では、森林再生と地域振興を同時に目指す取り組みとして「プレゼントツリー」を実施しており、これまでに国内外で61カ所、約42万本の植栽を行っています。

昨年5月に研究所から県山林協会に、被害を受けた奥能登で森づくり活動を通じて地域振興のお手伝いができないかと相談がありました。事業活動が可能な適地を検討した結果、輪島市町野町金蔵地内の共有林で承諾を得ることができ、この度、「プレゼントツリーin能登金蔵」森林整備協定を締結いたしました。

5月23日の協定締結式では、事業主体である研究所をはじめ、所有者である金蔵共有山林管理会の井池光信委員長、森林施業を担当する当協同組合の水上理事長が参画し、県奥能登農林総合事務所の葛城正浩所長



協定を締結した（右から）葛城さん、水上さん、鈴木さん、井池さん、坂口さん

に立ち会  
っていた  
だきまし  
た。

現地は、  
牧草地後  
の放置さ  
れた約2  
haの森林  
で、奥能

登地域で盛んなシイタケ栽培や炭の原木となるコナラやクヌギを植栽し、10年間育林管理していくことで、収穫できる森林に造成していく予定です。

また、金蔵地区は美しい棚田や里山が広がる「にほんの里100選」等に選定され、7世紀中頃に建立された金蔵寺を中心に栄えた歴史ある地区であることから、地域との交流や賑わいを取り戻していく活動も併せて進めていきたいと考えています。これらの活動費は、賛同していただく企業等からの寄付金や国交付金を活用しながら、植樹や交流イベントも企画していく予定にしています。

### 4 むすびに

当協同組合では、これらの取り組みを軌道に乗せていくとともに、引き続き、組合員のために必要な共同事業を促進していくこととしています。

（石川県森林整備協同組合）